

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	農学部
課程・学年	学部・1年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	8月9日（月）～8月27日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	4.有意義だった
応募・申込手続き	3.どちらともいえない
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
交換留学を検討しており、そのために英語のスピーキング力を伸ばしたかったが、自分の日常生活ではネイティブスピーカーと会話する機会を確保するのは難しかったので応募した。カナダには以前行ったことがあったので興味が有り、またマギル大学は京都大学と大学間学生交流協定を結んでいるので留学先としての検討材料にもできると思った。	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
プレースメントテストは自分のそのままの実力を測るものと捉えていたので特に準備はしなかった。下宿のネット環境が悪かったので管理会社に簡単な対応を頼むなどしたが、大きくは改善せず、プログラム開始後に有線 LAN に切り替えることで対応した。	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
----------	---

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

クラス参加人数	16~20名
学習時間/日	5時間以上
授業・アクティビティの概要 ※200字以上 (1日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	月曜日から木曜日までは、8時30分から11時30分まで授業が行われ、オンライン提出の課題が出た。課題の内容はテーマに沿った2分間の即興スピーチを録音する speaking、与えられた音声を聞いてウェブ上で質問に回答する listening、授業内で個別に行ったアクティビティの録画を提出する retell と discussion があり、毎日どれか1種類が出された。金曜日は8時30分から10時30分まで pronunciation clinic という発音に特化した授業が行われた。また、月曜日と水曜日の20時から22時と金曜日の10時30分から11時30分に conversation partner time というマギル大学の学生と交流する時間があった。
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	講師はとてもフレンドリーで、カナダのことを生徒に教えるだけではなく日本のことを積極的に知ろうとしてくれているのが印象的だった。授業中に生徒に質問をする際、答える人を指名しないことも多かったので、自分から答えないと授業中に全く話せないという状況が生まれてしまい、積極的な姿勢が大切だと感じた。下宿のネット環境の影響で zoom が落ちてしまったときはとても焦ったし、マンションにもとから設置されている回線のため自分で改善する手段がなかったのでオンラインの難点を実感した。
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	プログラム参加前の申し込みの段階で不明確な点があり、コーディネーターの方にメールで問い合わせたところ迅速に快く対応して下さったのでとても感謝している。また、conversation partner として参加していた現地の大学生が素晴らしかった。

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	4.まあまあ効果を感じられる
プログラムで得られた成果 ※300字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	日本から参加しているため実際の留学とは違って全く日本語と接しないという状況にはならないので、スピーキング力が劇的に向上した、ということはなかった。ただし、大学に入学してから英語のネイティブスピーカーと会話する機会がなかったので低下していた自分のスピーキング能力を、過去の自分の中の高

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

いレベルに戻すことはできたな、という印象だった。また、モントリオールについて参加前はフランス語圏であるという程度の知識しかなかったが、さまざまな地域からの移民が暮らしている多言語な地域であること、カナダという国自体が多様性にとっても寛容な国であることを知り、カナダの魅力により気づくことができた。conversation partner とは会話を楽しむことができ、SNS のアカウントを教えあったのでこれからもつながりを保てたらいいなと思う。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

クラスメイトが日本人の学生ばかりでも、日本の大学での授業とは違って周りの目を気にせずに自分から積極的に発言する姿勢がとても大切です。また、下宿などで難しい場合もありますがネット環境は可能な限り整えておくのがいいと思います。

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	経済学部
課程・学年	学部・3年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	8月9日（月）～8月27日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	4.有意義だった
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
<p>オンライン留学プログラムに参加を希望した理由は、日々オンライン英会話や発音練習など英語の勉強を頑張っている中で、実際に英語が用いられている環境により近い環境で実践的に英語を学びたいと思ったからです。また、その中でもマギル大学のプログラムを選んだ理由は2つあります。1つ目は、本プログラムがディスカッションやディベート、プレゼンテーションなどスピーキング力の向上に特に注力したものであったからです。2つ目は、発音向上のためのクリニックもプログラムに含まれており、北米アクセントを学んできた自分にとって非常に有用だろうと感じたからです。</p>	
<p>オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)</p>	
<p>オンライン・オフラインを問わず、留学情報は日頃からチェックするようにしていました。また、特別なテスト対策は行いませんでしたが、毎日の英語学習を欠かさないようにしていました。</p>	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input checked="" type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	16～20 名
学習時間/日	3～4 時間
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上	<p>（1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など）</p> <p>授業は朝 8 時半～11 時半の三時間で、大きく分けて 3 つの内容がありました。最初は、カナダの文化に関する記事（課題として前日までに読んでくる）を用いて全体でディスカッションを行ったり質問したりしました。次に、英語での会話や議論をスムーズに進めるための表現やコツを学んだ後、グループに分かれて実践しました。最後に、カナダの文化に関する動画を見て全体でディスカッションした後、グループに分かれてさらに議論を深めました。これに加えて、前日の課題について復習や議論をしたり、グループワークでの成果物をプレゼンテーションしたりする日もありました。課題は、次の授業用の記事を読んでくることに加えて、スピーキング課題とリスニング課題のどちらかが 1 日ごとに出されました。スピーキング課題は、あるテーマに関して自分の知識や意見をまとめ、2 分間スピーチを録音して提出するというもので、内容だけでなく発音や話し方の自然さ、論理構成など様々な観点から評価されたので難しくかついい練習になるものでした。リスニング課題については、普段やっているもの（高校や大学でやってきたもの）と大きくは変わらなかったと思います。アクティビティは週に 3 回あり、そのうち 2 回は 2 時間、1 回は 1 時間でした。2 時間の回では、マギル大学のキャンパスやモントリオールの有名な観光地のオンラインツアーのようなものだったり、班に分かれて現地の学生と英語を用いたゲームをしたりしました。1 時間の回でも同じようにゲームをやったり、最終回ではモントリオールで人気の食べ物であるベーグルを作ったりしました。</p>
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上	<p>（講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど）</p> <p>予想はしていましたが、授業においてもアクティビティにおいても積極的に発言することを求められるので、日本とはかなり違うなと思いました。ただし、発言の内容は優れたものである必要は無く、何を言ってもしっかり聞いて 1 つの意見として尊重してもらえるので、すぐに発言するのが不安にならなくなりました。また、現地の生徒が先生のことをファーストネームで呼んでいたことも印象に残っています。大学における生徒と先生（教授）との距離感の違いを実感しました。</p>
参加学生のサポート体制について	<p>（プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など）</p> <p>期間中特にトラブルは発生しなかったため、本プログラムのサポート体制を実感する機会はあまりありませんでした。ただ、わからないことがあればすぐ担当の先生やコーディネーターにメールで連絡できるようになっていたと思います。</p>

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	4.まあまあ効果を感じられる
プログラムで得られた成果 ※300 字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	
<p>このプログラムで得られた 1 番の成果は、英語で自分の意見を言ったり議論したりすることに対してためらいを（少なくとも以前よりは）感じなくなったことです。オンライン英会話は一対一だし普通の授業でも議論や発言の機会はそこまで多くないので、複数人の前で英語で発言するというのはとてもハードルが高いように感じていましたが、このプログラムを通してそのような経験をたくさん積んだことで、自信を持って発言できるようになったのではないかと思います。そのほかには、今まで知らなかったカナダの歴史や文化をかなり詳しく知ることができ、プログラム終了後も参加学生の一部とは関係性を保っておりスピーキングの練習をしたりしているので、学修機会として非常に有用であったと感じています。</p>	
今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス	
<p>このようなプログラムは現地の授業を体感し実践的に英語を学ぶとない機会だと思いますので、多少の不安はあると思いますが自分の好奇心を信じてぜひトライしてみてくださいと思います。</p>	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	経済学部
課程・学年	学部・2年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	8月9日（月）～8月27日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	4.有意義だった
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
<p>コロナ禍において様々な活動の自粛が求められています。そんな中で、オンライン留学というのは、自分自身の視野を広げるうえで、非常に役立てられるものだと感じ、志望しました。マギル大学を選択した理由は、単純に自分が一番耳にしたことのある大学であったためです。</p>	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
<p>マギル大学とはどのような大学なのか、ということ事前に調べました。また、レベル別で授業が行われるカリキュラムだったので、クラスを分けるためのテストを受けました。そして、カナダと日本という遠隔地であるため、オンライン環境が安定しているか、オリエンテーションの際に確かめました。</p>	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	16～20名

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

学習時間/日	5 時間以上
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	日本人向けのカリキュラムであったため、日本人に合わせた時間で授業が行われ、月～金曜日の午前 8:30～午前 11:30 の日程でした。月、水曜日は午後 8:00～午後 10:00 までマギル大学の学生さんとの交流の場が設けられました。午前中の授業では、毎日課題がだされ、スピーキング、リスニング、リーディングなど、その内容は多岐にわたりました。量が多かったため、午後には 2～3 時間程度自習のための時間を確保する必要がありました。月～木曜日はカナダの文化などについて学び、金曜日は、発音のレッスンがありました。
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティの違い、参加中のトラブルなど)	授業で印象に残ったことは様々ありますが、大変インタラクティブに行われたことが興味深かったです。日本では、講義というと座学で受け身的な内容がほとんどですが、本プログラムでは、授業中に頻繁に発言を求められ、そのたびに英語でどのように自らの考えを表現すべきか、非常に考えさせられました。学術的な内容を英語で議論する機会は少ないため、試行錯誤しながら取り組みました。夜に行われたマギル大学の学生さんとの交流においては、現地の学生さんの雰囲気を感じ取ることが出来ました。
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	何かトラブルが発生した際は、プログラムのコーディネーターの方に容易に直接連絡を取ることが可能となっており、サポート体制は充実していました。マギル大学の学生さんも交流を重ねるたびに、日本人学生が楽しめるような企画を考案してくれました。

4 プログラム参加を振り返って

満足度	4. やや満足
難易度	3. どちらともいえない
学習効果	4. まあまあ効果を感じられる
プログラムで得られた成果 ※300 字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	プログラムを通じて、英語の能力を習得出来たのはもちろんのこと、カナダの文化や歴史といったことも深く理解することが出来ました。はじめに、英語能力に関してですが、授業においては、発言の機会が多くあり、さらに学術的な意見を述べる必要があったため、日常生活で使われる表現とはまた少し違ったスピーキングの能力を向上させられたと感じています。また、毎日ネイティブの英語を聞くことが、確実に自分自身のリスニング能力を高めることにつながったと思います。続いて、授業の内容としては、食・

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

先住民・動物・ダイバーシティなど、多様なトピックが扱われたため、様々な面からカナダの文化を捉えることが出来たと感じます。ダイバーシティが豊かなカナダの文化は非常に魅力的に感じられ、自分自身の視野を広げることにつながりました。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

マギル大学のプログラムにおいては、支援体制が非常に充実しているため、自分が求めて行動するのであれば、本当に多くのことを吸収することが可能であると感じています。参加するのであれば、この機会を最大限利用する心持ちで臨むと良いのではないかと思います。

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	総合人間学部
課程・学年	学部・4年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	8月9日（月）～8月27日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	0.参加していない
応募・申込手続き	3.どちらともいえない
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
<p>大学生になったら留学したいとずっと思っていたが、体育会クラブに所属しているので実際に本気で留学しようと思えなかった。オンラインであれば日本にいながら留学でき、部活にも支障がでないので参加することに決めた。</p>	
<p>オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)</p>	
<p>いくつかオンライン留学のプログラムがあったので、費用や期間、プログラムの内容などを比べた。プレースメントテストの準備や環境の確認などは特に何も行っていない。</p>	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input checked="" type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	16～20名
学習時間/日	3～4時間

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

<p>授業・アクティビティの概要 ※200字以上 (1日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)</p>
<p>月、火、水、木、金曜日の8:30~11:30に授業、火、木曜日の20:00~22:00にコミュニケーションパートナー(マギル大学の学生)と交流を行った。</p> <p>授業では毎日課題が出され、日に因るが1時間~3時間くらいかかった。内容は、テキストを読んだり、決められた内容についての意見を録音したり、単語を調べたり。</p> <p>コミュニケーションパートナーとの交流では、マギル大学のキャンパスやモントレオールのまち紹介ツアーや、オンラインゲーム、ベーグルなどを行った。</p>
<p>授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)</p>
<p>最初は多くの学生が英語で発言をすることに抵抗があるように見え、私もそのうちの一人だったが、講師が間違えても全然問題ないという雰囲気を作ってくれたおかげで徐々にみんな発言するようになっていった。</p> <p>最後に好きなテーマでペチャクチャプレゼンテーションを行ったことが印象に残っている。最初はそんなにたくさん話すなんて無理と思っていたが、3週間講義を受けて何とかプレゼンも出来るようになった。</p> <p>大きなトラブルは特になかったが、Zoomの接続が重くて、ブレイクアウトルームに移るときに時間がかかってしまった。</p>
<p>参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)</p>
<p>現地での留学と違い、授業時間以外での参加学生同士の交流が難しかったのは残念だった。宿題をしながら疑問に思ったことなど、講師にメールで聞けばよいことではあるが、学生同士だともっと些細なことを聞けたのではないかと思う。</p>

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	4.まあまあ効果が感じられる
<p>プログラムで得られた成果 ※300字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)</p>	
<p>最初は講師が話している英語を集中して聞いて何とかついていける程度だったのが、授業を重ねるとそこまで必死にならなくても自然と言っていることを理解できるようになった。</p> <p>スピーキングに関しては、スピーキング力というより、英語で話すことへの抵抗がなくなったことが大きい。臆さず話せば話すほど上達すると分かったので、今後の学習に生かしたい。</p>	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

Zoom でつないでのモンリオールツアーでオンラインではあるけれど実際の街並みを見て、雰囲気を感じることができた。また、モンレールベーグルを作って食べた。

最終日にコミュニケーションパートナーと SNS の交換を行った。普段からあまり SNS を見る方ではないので、積極的に SNS での交流は行っていないが、もしモンリオールに行く機会があれば連絡する。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

英語力に不安のある方など参加するのは勇気がいるかもしれませんが、いざ始まってみれば何とかなります。現地での留学よりオンラインはハードルが低いと思うので、迷っている方はぜひ参加することをお勧めします。

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	教育学部
課程・学年	学部・3年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	8月9日（月）～8月27日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input checked="" type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	0.参加していない
応募・申込手続き	5.とてもわかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
大学卒業後の進路を見据えた際に、在学中に語学力を向上させることの必要性を感じたため、現地の方々とのコミュニケーションを通して生きた英語を身に着けたいと考えて参加を希望しました。また、異文化コミュニケーションの経験を積み、海外の友人を作ることも動機の一つです。	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
留学ではより実地的な生きた英語を学ぶことになるため、コミュニケーションの前提になるリスニングの能力向上に力を入れました。具体的には、留学参加が決定した日以降、Ted Talk と YouTube にて配信されているプレゼンテーションや英語でのテレビショーを字幕付きで見ることを毎日続けました。	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	16～20名

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

学習時間/日	5 時間以上
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
<p>日本時間で午前の 8:30～11:30 の 3 時間に授業が行われました。カナダの文化について英語で学ぶ授業内容が中心ですが、カナダの持つ文化的・言語的多様性など複数のテーマについて生徒同士で文献を読み、プレゼンテーション動画を見て考えたことを議論するといったアクティビティを多く行いました。</p> <p>課題は主に議論のテーマについて動画を見たり文章を読んだりする予習ですが、2 分間で自身の趣味や差別問題への考えなどについてプレゼンテーションした動画を提出する課題にも取り組みました。</p> <p>また、20:00～22:00 には現地の学生と交流する時間があり、英語での早口言葉やクイズなど様々なゲームを通して英語を使う力を養います。オンライン留学であるためカナダの観光地を実際に訪れることはできませんが、現地の学生が Zoom をつないだまま町や観光地を歩いて案内してくれるため、本当にカナダの街に行ったかのように、街並みや食べ物を見て回ることができました。</p> <p>週末には別途申し込みの「My Virtual Homestay」プログラムが行われていました。私は他の学生と 2 人でホームステイに参加し、ホストファミリーと互いの文化についてクイズを出し合ったり、海外で流行っている日本の漫画、カナダの料理などについて語り合いました。</p>	
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	
<p>最も印象に残っていることは、マギル大学の学生の方で、言語学習に関心があり 20 か国語近くを学び習得したという方のお話を聞いたことです。彼は言語を学ぶことによって自身の世界が広がることに楽しさを見だし、今も新たな言語にチャレンジしていると話してくれました。日本で英語学習をしていた私の中には、どこか義務的にやっている、あるいは学びや就職のための必要に駆られて学習をするといったモチベーションが支配的でしたが、彼の話聞いたことで、純粋な言語への関心から学ぶことに興味を持ち始めました。やはり学びは楽しんで、興味をもって取り組むことが最も高い学習効果につながることを改めて感じました。</p> <p>授業の風景は比較的日本のものと近いような印象もありますが、日本の大学の講義とは違って基本的にカメラは常にオン状態であるため、どこかカメラ疲れしてしまうような感覚を覚えたことがありました。また、やはりネットワークトラブルは何人もの生徒に発生していたため、オンライン留学の課題の一つだと感じています。</p>	
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	
<p>私たちのサポートをしてくださった先生方や現地学生の方々は、非常に丁寧に接し、対応してくれました。英語学習の途上である私たちにとってはいまいち聞き取れない部分があったり、逆にうまく考えを伝</p>	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

えられない場面も数多くありましたが、ゆっくり言い直してくれたり、言葉を補って説明を助けてくれたりと、随所で円滑なコミュニケーションを支援していただきました。

参加学生同士でも、メールアドレスを交換して英語で連絡を取り合ったりという相互学習を行いました。ある学生が提案してくれたことでコミュニティが成立し、終了した現在でもクラスメイトとの付き合いが続いています。

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	4.難しかった
学習効果	5.とても効果が感じられる
プログラムで得られた成果 ※300字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	
<p>私が留学活動から得た学びは主に2点あります。1点目として、やはり英語を使って他者とコミュニケーションを取るという行為のハードルが大幅に低下したことを実感しました。留学に参加する以前の私は英語を勉強している際に、間違えずに正しい単語・文法を使いこなすことができないといけないう固定観念に縛られていました。そのため、「自分の言いたいことが相手にきちんと伝わらなかつたらどうしよう」「相手の言いたいことがわからなかつたらどうしよう」と、海外の人と英語でコミュニケーションをとるという行為自体に対して漠然とした不安がありました。やはり留学を始めた最初の頃は不安がつきまとい、消極的になりがちになってしまいました。しかし、留学の経験は私に、英語はあくまで意思疎通のためのツールの一つであること、完璧でなくともお互いのフォローで会話は十分に成立することを教えてくれました。そのことに気付いてからは不安は薄れ、むしろ積極的に話を深めることを楽しめるようにさえなっていました。こうした英語の学びはまさに「生きた英語」であり、実際のコミュニケーションを通してしか獲得できないものであると考えています。2点目ですが、日本の外の世界を知らないことによる視野の狭さを痛感しました。私が留学したカナダのケベック州は、公用語として英語とフランス語の両方を採用しているなど、言語の観点からみても多様性に富んだ地域です。当然ながらそこに位置するマギル大学に在籍する学生も世界中から集まっています。私が留学中に交流した方はオーストラリアからカナダへ渡航し進学したと話してくれました。このような文化的多様性を内包する地域での学びは、私が日本でしか過ごしてこなかったがために知らなかった広い世界を見せてくれました。授業の中では様々なカナダの文化を学びますが、LGBTQ2S+や障がい者の社会への受容など、現代の日本においても積極的に考えていかねばならない課題についても取り扱われていました。私は大学で社会学を専攻しているため、こうした社会的マイノリティの話題を耳にすることは日本でもしばしばありましたが、やはりこうした方々への支援は海外のほうが日本よりも進んでいることが多いと言われています。広く海外を知り、いくつもの視点を獲得したうえで日本の諸課題について考えることの重要性を感じました。以上の2点が、私が3週間の留学を通して主に学んだ成果です。</p>	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

海外留学によって得ることができる学びは言語能力だけではなく、日本にいただけでは、本やネットで知識を得ただけではわからない文化も学ぶことができます。こうした利点を考えた際に、「オンライン留学ってどうなの？」と思われる方がいらっしゃるかもしれません。確かに、オンライン留学では海外に現地滞在学习して生活するという経験を得ることができません。この点は最大の問題点であると考えられます。

しかし、オンライン留学には現地滞在とは異なる良さがあります。

それは、参加する現実的なハードルが低いことです。従来の留学ならば渡航費や生活費を考慮する必要がありましたが、日本の自宅からの参加になるため、参加費用以外のこうした諸経費の心配は不要になります。さらに、参加に対する心理的ハードルも比較的低いと言えるのではないのでしょうか。授業時間外は日本にいるわけですから、「英語ができないと生きていけない」という窮地に立たされる心配は無用です。そうした「厳しい環境に身を置くことによる成長」という良さが現地滞在学习にはあるのですが、いきなり未知の土地に放り出されるかのような不安を感じることはなく留学できます。

オンライン留学を通して、私は十分に英語を使って人とコミュニケーションをとる経験値を積むことができましたし、異文化にも触れることができました。比較的参加しやすいオンライン留学こそ、留学するか迷っている学生にとっては最適な選択肢かもしれません。

長々とオンライン留学の宣伝めいた助言を述べてきましたが、最後に、参加される学生の方々にアドバイスを述べようと思います。英語はあくまでもコミュニケーションツールの一つであり、日本人の日本語が完璧でないように、英語もまた完璧である必要はありません。必要なのは、たとえ間違っても、あらゆる身振り手振りをういてでも、相手と真摯にコミュニケーションを取ろうとする姿勢です。これを忘れなければ、留学は非常に有意義な時間となると私は考えています。

今後、本プログラムに参加される学生の皆様が留学でのコミュニケーションを楽しんで、学びを深めることができるよう願っております。

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	薬学部
課程・学年	学部・2年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	8月9日（月）～8月27日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	0.参加していない
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
大学の英語を聞いたり話したりする授業でもコミュニケーション能力を向上させることができるが、それでは物足りないと感じたため、オンライン留学を希望した。また、カナダの文化や自然について興味関心があり、その知識や理解を深めるために本プログラムを希望した。	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
留学先の大学のホームページを参照し、情報収集を行った。 カナダの文化についてあらかじめ調査を行った。 英語の動画やニュースを視聴し、プレースメントテストに備えた。 オンラインツールや環境の確認をした。	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
----------	---

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

クラス参加人数	16~20名
学習時間/日	5時間以上
授業・アクティビティの概要 ※200字以上 (1日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
<p>週に4回、日本時間の8:30から11:30までの3時間、インストラクターによる授業があった。週に1回は発音に関する授業が日本時間の8:30から10:30までであった。また、現地学生との交流があり、日本時間の10:30から11:30までの1時間が週に1回、あるいは20:00から22:00までの2時間が週に2日あった。</p> <p>インストラクターによる授業ではカナダの文化や自然などについて学び、その内容に関連して参加している生徒同士で英語でディスカッションをした。また、自分の興味のある話題でプレゼンテーションをした。課題は毎日出され、量は大体2時間以内で終わるものであった。内容は2分程度のスピーチや簡単なリスニングクイズ、次の授業の準備などであった。</p>	
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	
<p>インストラクターは個人個人に発音の指導をしたり、よりよい英語表現を示したりしており、丁寧な指導だと感じた。また、あまり発言していない参加者にも発言の機会を与え、参加者全員が毎回少なくとも2回以上は発言していた。インストラクターは初回授業で話の途中でも質問しても問題ないと話していたが、そこが日本における授業との違いだと思う。</p> <p>現地学生との交流では、大学や大学付近の観光地からzoom配信をすることがあり、実際に留学したかのような体験ができた。訪れた観光地の歴史的背景を説明しつつ、生徒からの質問に答えたり日本との違いを生徒に質問したり、カナダの文化について参加生徒が能動的に理解を深めることができる工夫をしていた。</p>	
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	
<p>インストラクターや現地学生の連絡先が知らされており、授業上での質問や学生交流の内容についての提案ができるようになっていた。参加学生同士の連絡先を知る機会は少なく、授業外での協力は比較的難しかった。</p> <p>また、アカデミックサポートやテクニカルサポートの担当者への連絡先も明示されており、参加中のトラブルに関する相談ができるようになっていた。</p>	

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

学習効果	5.とても効果が感じられる
<p>プログラムで得られた成果 ※300 字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)</p>	
<p>通常授業とスピーチ課題により、英語のスピーキングの正確性が向上した。最初は発音やアクセント、時制を間違えることも多かったが、インストラクターのアドバイスを参考に復習を続けたところ最終的にはミスがかなり減った。また、英語で音声入力をしたときに自分の言ったとおりの文章が入力されるようになったことから能力の向上が感じられた。</p> <p>ディスカッションやプレゼンテーションからも英語のスピーキング力が向上した。今までは話題から話題にスムーズにうまく移ることができていなかったが、これらのアクティビティから話題と話題をつなぐときのフレーズを学んで実際に使い、身につけることができた。また、賛成や反対の意見をしめす表現は知っていたが、部分的に賛成・反対を示す表現を新たに学ぶことができ、自分の意見の表現の幅を広げることができた。</p> <p>授業への参加と現地学生との交流でさらにカナダの文化への理解を深めることができた。カナダはグローバルな国で様々なバックグラウンドを持つ人々が暮らしているため、カナダについて知る中で異文化への理解も深めることができた。</p>	
<p>今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス</p>	
<p>現地学生との交流では、英語でどう反応したらいいか困った経験があるので、英語でどう相槌をうったり反応したらいいのかを調査することをおすすめします。また、事前にある程度カナダについての知識やカナダで人気の歌手、カナダの著名な人物について知っておくと、現地学生との交流で話が盛り上がると思います。</p>	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	文学部
課程・学年	学部・2年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	8月9日（月）～8月27日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	5.とても有意義だった
応募・申込手続き	5.とてもわかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
特にスピーキング能力とリスニング能力を重点的に鍛えるのに役立つそうだったから。また、英語とフランス語を学習しているため、その2つが公用語になっているカナダについても興味が大きかったので、マギル大学のプログラムが一番魅力的に感じたため。	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
英語で話すという経験がほとんどなかったので、日常会話の勉強のために英語の podcast を聞いたりしてアクティビティに積極的に参加できるように準備をした。	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	16～20名
学習時間/日	3～4時間

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
<p>月曜から金曜の毎朝 8 時半から 11 時半に、先生と生徒で交流する授業があり、火曜と木曜には夜の 20 時から 22 時にマギル大学の学生と Zoom で様々なアクティビティを通して交流した。</p> <p>先生が教える授業では、カナダの文化を学びながら実際に英語で議論を行い、英語の運用能力を向上させる授業と、発音を重点的に学ぶ授業があった。毎日予習や課題があったが、2 時間程度で完了する量で、無理なく活動に参加することができた。</p> <p>マギル大学の学生との交流では、様々なゲームや、ヴァーチャルでのキャンパスツアーやモントリオールツアーがあり、一緒に体験しながら楽しむことができた。</p>	
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	
<p>先生は親身になって学生と交流してくださり、英語に関する色々なアドバイスをくれた。スピーキングとリスニングに関して、3 週間と短い間ではあったが、これからの英語学習に活かせるようなことをたくさん学ぶことができた。また、参加学生同士で議論する場が非常に多く設けられており、能動的に授業に参加できたのが印象に残っている。他には、色々なインターネット上のサイトやツールを使って授業が行われたので、その点は日本におけるオンライン授業とは異なっているのではないかと感じた。更に、学生が授業で発表をする機会も日本よりも多かったように感じる。</p> <p>マギル大学の学生との交流では、ヴァーチャルツアーが非常に印象に残っている。実際に行くことはできなかったものの、リアルタイムでの映像を通して色々な場所を訪れることができ、ぜひカナダに行ってみたいという気持ちが強くなった。</p>	
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	
<p>メールでの連絡が多く、サポート体制は充実していたように思う。また、現地学生チューターは英語に関する相談や授業に関して様々なことに対してサポートができるように準備されていた。</p>	

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	4.難しかった
学習効果	5.とても効果が感じられる
プログラムで得られた成果 ※300 字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	
<p>3 週間という短い間でなおかつ、オンラインということでのどのような成果が得られるか不安であったが、多くの成果を得られた。スピーキング能力に関しては、今まで話すという経験がほとんどなかったため、最初</p>	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

は話すことにためらいがあったが、交流を通じていく中でどんどん積極的に話すことができるようになっていった。また、積極的に発言することを心掛けていたので、発言を通じて先生からアドバイスを得ることができ発音や語彙に関しても成果が得られた。リスニング能力に関しては、授業中常に英語を聞き続けるので、集中するのが大変であったが、徐々に慣れることができた。また、カジュアルな日常会話の英語も聞くことができ、大きな収穫であった。

授業と現地学生との交流ではカナダの文化を、教育、食べ物、自然、社会などの様々な観点から学習することができた。学習を通じて実際にカナダに行き体験してみたいという思いも強まった。

また、プログラム終了後もプログラムに参加した学生や現地学生と、SNS 上で繋がることができおり、それは貴重な交流となっている。京都大学だけでなく他の大学からの参加者も多く、それぞれ専攻しているものも異なっているので、色々な分野の学生と交流を持つことができた。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

最初は不安もあると思いますが、参加してみると想像よりも楽しむことができ、たくさんの経験を得られるのでぜひ勇気をもって参加してほしいです。また、プログラムを通してどのような成果を得たいかを考えた上で参加すると、更に有意義な活動になると思います。

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	法学部
課程・学年	学部・1年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	8月9日（月）～8月27日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	5.とても有意義だった
応募・申込手続き	5.とてもわかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
私は海外の文化を学ぶとき、自分が全く知らない世界を知ることができ、それだけで旅行をしているように感じる。そのため海外の文化を学ぶ事や海外の人との交流に関心があった。また、今日グローバル化が進み、政治、経済、社会などあらゆる局面で複数の国のつながりを考慮しなければ解決しないことが多い。そのような現代社会においては異文化の理解を深め、多くの人が使用する英語を使いこなせることが不可欠だ。このように考えていたため、英語を使用し、カナダの社会や文化について学び、現地の人との交流の機会を得られる本プログラムの内容は自分の学びたいことに合っていると感じたため本プログラムを選択した。	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
パソコンのオーディオ環境を確認した。	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input checked="" type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
----------	--

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

クラス参加人数	16~20 名
学習時間/日	3~4 時間
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
3 週間月曜から木曜は 3 時間の授業があった。授業では主にカナダの文化や社会を題材とし、課題の確認や英語でのグループワーク、話し合い、プレゼンを行った。英語で自分の考えを話したり、他の学生の意見を聞く機会が多く設けられており、積極的な発言が求められた。課題は毎日出され、カナダの文化や社会についての英文を読んだり、指定のテーマに基づき英語で 2 分間スピーチをし録音するなどであった。金曜には発音の改善のための授業が 2 時間あった。また、毎週 5 時間マギル大学に通う現地の学生と、留学生で交流する時間があり会話やバーチャル街歩き、ゲーム等をした。	
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	
日本における授業では、比較的生徒が発言する場面は少なく、発言する場合も様子をうかがいながら慎重になることが多いと思う。しかし、本プログラムの授業内では積極的な発言が求められ、多くの参加学生達が特に指名されなくても非常に積極的に発言していたことに刺激を受けた。私自身は普段授業などで発言をすることは少ない。それでも周囲の積極的な姿勢、そして講師や学生の教室全体が他の学生の発言を真剣に聞いていた事に押されて、普段よりは発言できたと感じている。発言が得意な学生にとっても、そうではない学生にとっても参加しやすい授業環境だった。	
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	
プログラムコーディネーターや現地学生による支援は双方向的でとても助かった。現地学生は私達参加学生との交流のために色々考え、多くに時間を割いてくれた。とても感謝している。 また、オンラインという制限のある中でも、参加学生同士で協力し、交流を深めることができたと思う。	

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	5.とても効果が感じられる
プログラムで得られた成果 ※300 字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	
本プログラムで、私は英語力と異文化の理解の面で成長し、また今後の学習の方向性を以前よりはっきりとさせられたと思う。 スピーキングについては、日々の英語学習では何かを英語で発信する際にまずじっくり考えられる場面	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

が多いのに対して、本プログラムでは即座に自分の考えや感想を英語で話すことが求められた。回数を重ねていくことで間違いを恐れすぎずとにかく伝えることを意識するようになり、また英語で話すこと自体にも慣れることができ、以前よりもスムーズに英語で会話や説明ができるようになった。リスニングについては、本プログラムで毎日何時間も英語を聞くことで、英語で聞いたことをよりナチュラルに処理できるようになった。

異文化理解については、1つの国について文化や社会をここまで深く学ぶのは初めてで、理解のための様々な切り口は興味深く、現地を訪れずとも学ぶことも多いと実感した。ただ、異文化交流や理解には実際に現地に足を運ぶことも大事だと思うので、コロナが収束したらモントリオールを訪れたい。

全体を通して、献身的に準備をしてくれた現地学生や積極的な参加学生達に囲まれて彼らに刺激を受け、授業で講師のサポートを受けながら様々なことを学んだことで今後の英語学習のみならず様々な学習のモチベーションや指針を得ることができたと思う。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

英会話や発言をすることが苦手でうまくいか心配に思う人も多いと思いますが、このプログラムでは自分のペースで成長できると思うので、そういう人でも挑戦してみしてほしいです。

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	総合人間学部
課程・学年	学部・1年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	8月9日（月）～8月27日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	5.とても有意義だった
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
<p>大学に入ってせっかくの長い夏休みに、自分を磨くための何かをしたいと考えていたため、オンライン留学をしよう決めました。その後さまざまな大学のプログラムの案内や説明会に参加し、英語に重点が置かれたうえで英語とフランス語のバイリンガルの地域、モントリオールにあるマギル大学の文化学習にも惹かれて、本プログラムへの参加を決定しました。</p>	
<p>オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)</p>	
<p>このプログラムを含め様々なサマースクール、オンライン留学プログラムの情報を集めました。また、プレースメントテスト及び授業受講にマイク付きのヘッドセットの利用が推奨されていたため、購入しました。</p>	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	16～20名

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

学習時間/日	5 時間以上
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
<p>プログラムの内容は大きく分けて以下の 3 つでした。</p> <p>①週 4 日（3 時間／日）の通常授業</p> <p>②週 3 日（5 時間／週）のマギル大学の学生との Conversation time</p> <p>③週 1 日（2 時間／週）の Pronunciation clinic</p> <p>①の通常授業は 8:30~11:30 に Zoom で行われました。プログラム全体の目標としては英語の Speaking & Listening skill を伸ばすことだったため、授業でも Speaking や Listening における strategy や tips を学びました。また、カナダの文化やもっと広い LGBTQ、Diversity などのテーマについても動画を見たり記事を読んだり、クラスでディスカッションをしたりして学びました。授業の中でも Breakout room に分かれてグループ毎に練習・確認する等、グループワークが授業毎に 2, 3 回は必ずありました。単なる一方向的な講義ではなく、interactive で、先生の質問に対して生徒が自由に答えたり、生徒同士で story retelling や discussion を行ったりすることが基本のスタイルでした。プログラムの最後はグループプレゼンテーションも行いました。</p> <p>②の Conversation time では、日本人の生徒 4 人程に対してマギル大学の学生 1 人の conversation partner がつく 5 人のグループになって話をしたり、クイズをしたり、ゲームをしたりしました。英語を学ぶというよりもアクティビティとして交流を楽しむという時間になりました。また、現地の学生が実際にマギル大学のキャンパスやモントリオールの街の中をスマートフォン片手に歩きながら案内する virtual tour も行われ、素敵な街並みや映画の中でしか見たことのない西洋のキャンパスの風景を楽しむことができました。海外渡航や実際の留学への夢が膨らみました。</p> <p>③の Pronunciation clinic では、通常授業とは別の先生に、発音についてより詳しく教えていただきました。単語の音節や強勢、母音の発音、L と R の発音の仕方などについて取り上げて、グループワークなども交えつつ実際に話しながら学びました。</p> <p>授業後には必ずその日の課題が出ました。Speaking Journal という、出されたトピックに対して自分の意見を 2 分ほどにまとめ録音・録画して提出するという課題が自分にとっては有益でした。自然な英語で自分の意見を言い、それを先生が添削して翌日には返却してくださるというものでした。他にも動画を見て Listening のクイズをするといった課題、授業中に生徒同士で行った story retelling, discussion, presentation など録画して提出するという課題もありました。どの課題も先生が一つ一つ添削してコメントを残してグレードを付けてくださいました。こうした課題に対して 1 日に平均して 3 ~ 4 時間くらいは授業外に学習をしました。</p> <p>プログラムの中で、マギル大学を卒業したばかりの 20 か国語話せる guest speaker の方から話を聞く機会がありました。彼から言語学習のコツや情熱のようなものを聞いたこともとても有意義でした。</p>	
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

一番印象に残ったのは、英語の学習ツールとしてのインターネットの利用です。授業中のリスニング教材は大学オリジナルのものではなく、YouTube や podcast から引用された動画がほとんどでした。これらは無料で、今すぐに自分の英語学習に組み込めるものばかりでした。これにも関わって、自分にとって一番有意義だったのは、guest speaker として授業に来てくださったマギル大学の卒業生の話です。彼は 10 歳頃に言語学習への情熱に目覚め、22, 23 歳になる現在までに約 20 の言語を日常会話できるくらいには習得したということでした。彼の独学の言語学習の方法は、同じく YouTube や podcast、インターネット上の Duolingo などの言語学習アプリケーション、映画やドラマを利用する、学習言語を話す友達を作って会話の練習をする、手帳をその言語で書く、などすべて自分でもできそうなことばかりでした。彼の言語学習のコツで印象的だったのは、このように言語学習を日常に取り込むことと、楽しんで継続することの 2 つでした。間違えることを恐れずに 100% を目指さないという点も強調されていました。彼から言語学習への情熱を強く感じて、楽しんで自分の目標に一步一步進んでいくことの重要性を再認識できました。

これが現地の大学の講義の基本スタイルなのかは分かりませんが、普段京大で受けている一方向的な講義ではなく、相互的な授業スタイルでした。先生から質問が飛んできて、自由に生徒が答えるという形でした。Zoom ということもあり自分には受けづらい部分もありましたが、interactive な授業形式と、同じクラスの積極的な生徒さんに刺激を受けました。積極的になればなるほど 20 人弱のクラスの中で自分が話す時間も増え、間違えることもありますがそれも含めて自分の成長につながることを実感しました。

参加学生のサポート体制について

（プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など）

先生方は授業中に質問する時間を多く設けてくださって、その日の内容は宿題などへの疑問点は解消された状態で毎回のクラスを終えることができました。各先生やコーディネーターの方のメールアドレスを何度も共有していただき、授業外にも質問できる体制を整えてくださっていたように思います。また、私が宿題の提出にあたり提出するファイルの一つ忘れてしまったことがあったのですが、先生がメールで対応してくださり、再提出のものを添削までしてくださいました。

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	4.まあまあ効果が感じられる
プログラムで得られた成果 ※300 字以上 （英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など）	
一番の成果は、今後の自分の英語の学習のやり方をいくつも知れたことです。「授業・アクティビティで印象に残ったこと」に書いたように、身近にあるツールを使って日常的に英語の学習を続けていくことをプ	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

プログラム全体を通じて学びました。そのコツ自体を学べたことに加えて、授業で先生が様々な有用なウェブサイトを沢山紹介してくださったので、すぐに使える学習方法を身につけることができました。先生が紹介してくださった podcast のサイトの他にも、自分が興味のある学問分野の podcast を自分で見つけて聞いてみることもできました。

更に、カナダの食文化、自然、社会、政治、先住民など、カナダの文化について沢山知ることができたことも良かったです。私自身大学で英語とフランス語を学んでおり、フランス語文化圏にも興味があったので、バイリンガルというケベック特有の文化に触れることができ、非常に興味深かったです。実際にモンリオールを訪れたいくなりました。

また、カナダの文化に関わらず、diversity や LGBTQ など重要なトピックについても議論することで、自分の考えを持つこと、それを英語で話すことの難しさを実感しました。このプログラムを通じて、日常会話を超えたそういった意見の交換を英語で行うということへの意識が高まったのは大きな成果でした。日ごろからニュースなどを見て考えた自分の意見を、英語で表現するにはどう言うかを考えてみるということを実践しようと思いました。

このプログラムだからこそ speaking, listening 能力が向上したかは分かりませんが、こうした今後につながる発見がいくつもあったことが、自分の意識の面で非常に良かったです。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

オンライン留学を希望する場合には、様々なプログラムの特徴をよく比較して、自分のやりたいことに良く合うものを選ぶことが良いと思います。私は今回は英語の学習を重視し、そこまで難しいテーマを扱わないプログラムが良いと考えマギル大学のプログラムを選びました。様々なプログラムと比較して選ぶことで、自分がやりたいと思っていたことに沿う学びを得られたと思っています。またプログラム終了後には、一緒に授業に参加したクラスメートたちが自分と似たくらいの英語のレベルの人が多かったため、今度オンライン留学を受けるなら、もう少し難しい内容で頑張っついていくくらいのレベルでも良いかなと思いました。このプログラムのように英語の学習を重視するものや、社会的なテーマについてのディスカッションをメインとするものなど様々なプログラムがあると思うので、比較検討することが重要だと思います。

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	経営管理大学院
課程・学年	修士課程・1年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	8月9日（月）～8月27日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input checked="" type="checkbox"/> その他（ライブの他課外ワーク）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	4.有意義だった
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
特に予定がなかったこと、本来であれば夏休みに海外に行きたかったこと、大学院で英語での授業 4 単位が卒業要件になっているため英語能力を改善させておきたかったこと、等が理由。	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
特になし	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input checked="" type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	16～20名
学習時間/日	3～4時間
授業・アクティビティの概要 ※200字以上 (1日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
平日は月曜から木曜まで担当講師による通常授業が行われる（朝8時30分～11時30分）。	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

金曜のみ発音に特化した授業（朝 8 時 30 分～10 時 30 分）のあと、Conversation Partner と呼ばれるマギル大学の学生との会話アクティビティ（10 時 30 分～11 時 30 分）を行う。週に 2 度、夜 20 時～22 時に Conversation Partner との時間があり、片方は Partner がモンクトリオールの名所等をカメラを通して案内するツアー、もう片方は金曜 AM と同じく会話アクティビティとなる。アクティビティは簡単な英語を使った様々なゲームで、リラックスして参加できるもの。授業外学習時間は当日課されるアサインメントや予習教材のボリュームによる。30 分程度の時もあれば 2 時間程度かかることもあった。

授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上

（講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティの違い、参加中のトラブルなど）

参加学生の多くは自分から発言しようとはせず、指名されなければ話さないの、講師が誰ともなく呼びかける際は毎回私含め特定の生徒のみが反応してしまい、もったいないと感じた。

授業内容は、英語そのものの勉強パート(会話や議論でよく使うフレーズ等)と、カナダの社会や文化を学ぶパートに分かれるが、前者を活用して後者に関するディスカッションを行うなどシームレスになっていた。後者では移民や LGBTQ などの社会問題についても取り扱っており、特に学部低学年にとってはこうした内容について自分の意見をまとめて表明することになじみが薄く、難しかったかもしれない。

大きなトラブルはなかったものの、やはりオンラインなので接続が悪かったり音声が悪かったりする参加者がおり、聞き取りづらいことがあるのは困った。

参加学生のサポート体制について

（プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など）

授業内容については問題なく、コーディネーターやアドミニストレーターにメールした際も反応は早かった。一方でテクニカルサポートが充実しておらず、課題のアップに関する問題があった時はテクニカルセンターの HP の分かりにくい Q&A サイトを探し回る羽目になった（メール対応を受け付けていないため）。オンライン環境についてはある程度自分で何とかする覚悟が必要。

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	2.あまり難しくなかった
学習効果	4.まあまあ効果を感じられる
プログラムで得られた成果 ※300 字以上	
（英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など）	
英語に関して一番改善したのはスピーキング。既に有している単語や文法などの知識が、話す際にスムーズに出てこないのが日本人の多くに共通する問題だと思われるが、プログラムで積極的に話すことによって徐々にリズムや感覚をつかめるようになった。身もふたもない言い方をすれば慣れの問題。従っ	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

て、単語や文法などの事前知識の多寡によって話せるようになるレベルも左右されるため、英語が全くできないのにとりあえず参加するというのは意味がない。リスニングも勉強にはなるが、英語用教材ではないもの(Youtube 等)が多く、かなり話す速度が速いので、こちらもともとある程度の素地がなければ難しかった。

英語以外については、カナダやケベック州に関する理解が高まった。正直なところ北米はアメリカのイメージが強く、カナダについてはあまり知識がなかったため、一般教養としても大変勉強になった。

ネットワーク構築は、現地学生というより参加学生同士で行うことができた。上述の通り、スピーキングは慣れであり、すぐ感覚を忘れてしまうと思ったため、プログラム修了後も練習相手になってくれる学生を募集したところ、10名程度が集まった。現在は週2程度、オンラインで英会話を行っている。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

参加するのであれば、自分から積極的に発言する勇気を持ってほしい。文法を間違えるのが恥ずかしいとか、片言で話したくないから文章を完成させてからでないと話せないとか、そういったことを考えていると機会を逃す。参加者の英語レベルは似たり寄ったりであるし、どうせ英語でしか会話しない相手(日常で会うこともない相手)なのだから、恥を捨ててとにかく話さないと費用の無駄になる。

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	薬学部
課程・学年	学部・2年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	8月9日（月）～8月27日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	0.参加していない
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
以前から海外の文化に興味があり、また英語のスピーキング能力に自信がないため、語学留学をしたいと思っており、クラスでオンライン留学についてのお知らせを見つけて参加を決めました。パートナーとの会話の時間が設けられていることがこのプログラムを選択した大きな理由です。	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
留学先の情報収集を行いました。	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input checked="" type="checkbox"/> その他（オンラインツアー）
クラス参加人数	16～20名
学習時間/日	5時間以上

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

<p>授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)</p>
<p>8:30~11:30 が基本的な授業時間で、月曜日から木曜日までは資料や動画を用いてカナダ（特にケベック州）における食文化や動物、先住民、移民、言語、多様性、障がい者や LGBTQ2S+ のようなマイノリティについて学び、考え、議論や発表を行いました。また 19 言語話せるというマギル大学院生の話がうかがう機会もありました。金曜日は 8:30~10:30 にプロナレーションクリニックという正しい発音について学ぶ時間がありました。月曜日と水曜日の 20:00~22:00 と金曜日の 10:30~11:30 はカンパセーションタイムというパートナーとの会話の時間があり、オンラインツアーでマギル大学やマウント・ロイヤルパーク、ノートルダム・バシリカを含めたモントリオールの街並みを案内してくれたり、マギル大学の学生 1 人に対して日本人 4 人程度の少人数に分かれゲームを通して英語やカナダの文化について学んだりしました。課題については、基本的に月曜日と水曜日はスピーキング・ジャーナルという 2 分間でお題について話す課題があり、火曜日は 2 題のリスニングクイズがありました。他にも動画で学んだことを自分の言葉に置き換えて他の人に説明する学習やディスカッションやプレゼンテーションを授業中に行った際はそれを提出したり、日本や自分についての俳句を英語で考えたものを提出したりすることがありました。また、次の授業に向けて配られる資料に載っている質問について考えたり、動画を見たりして予習する必要がほぼ毎回あり、ディスカッションやプレゼンテーションの準備を個人的にすることも必要でした。教えてもらったポッドキャストを聞いたり動画を見たりもするので授業時間を含めると学習時間は 1 日あたり平均で 6 ~ 7 時間ほどだと思います。</p>
<p>授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)</p>
<p>1 つ目は参加学生の英語で伝える力です。英語の語彙力が高いことはもちろんですが、参加学生が話しているのを聞いて非常にわかりやすいことに驚きました。また英語での会話では正しく発音することももちろん必要ですが、いろいろな言いまわしを使って相手に伝えようとする他の学生の姿勢に影響を受け、私自身ももっと伝えられるようになりたいと思うようになりました。</p> <p>2 つ目は移民、多様性や社会的マイノリティなどの社会問題についてです。カナダは日本よりもこのような問題についてより取り組まれているので、このプログラムを通して考えたり議論したりする機会がありました。とてもよい機会だったと思います。</p>
<p>参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)</p>
<p>いつでもメールで質問できる状態だったのでサポート体制は十分だったと思います。実際に、初日に zoom に参加できずメールをしたのですがすぐに返信してくださったので安心しました。</p>

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	4.難しかった
学習効果	4.まあまあ効果を感じられる
プログラムで得られた成果 ※300 字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	
<p>まず、英語のスピーキング能力が向上したと感じられます。3 週間のプログラムで確実に向上したとは言えませんが、向上させるための術は間違いなく得られたと思います。プログラム内で教えていただいたポッドキャストや記事などをこれからも利用して、英語のスピーキング能力に自信が持てるようになりたいです。</p> <p>また、移民、多様性や社会的マイノリティについての議論や発表を通して様々な知識を得ることができました。このような社会問題には今までも興味はありましたが、日本ではこれらの問題についての議論が他国より遅れていることもあって知らないことばかりだったということに気が付きました。これからこのような問題について考えていくうえで必要なものが得られたと思います。</p> <p>さらにカナダ、特にケベック州の文化について知ることができました。実際に暮らしている人たちからの情報はネット上では得られないようなとても有益なものでした。</p>	
今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス	
<p>オンライン留学では積極性が最も重要だと感じました。自分で英語の動画やポッドキャストを見聞きしたり、教えてもらった情報から派生しているいろいろなことを調べたりすることが必要だと思います。そうすれば、プログラムを通して語学力に自信を持てるようになり、様々な文化や社会問題についても知ったりできるようになるのではないかと思います。これからの人生において有意義なものになるはずです。</p>	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	農学研究科
課程・学年	修士課程・1年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	8月9日（月）～8月27日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input checked="" type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	0.参加していない
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
<p>もともと英語学習に興味があったものの学部生時代は課外活動が忙しく、留学を行う時間が取れなかった。大学院に進学後も日本を離れるのは難しいと考えていたが、オンライン留学の存在を知り、学業と両立しながら留学経験を積むことができると考えた。</p>	
<p>オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)</p>	
<p>留学プログラムの資料を読み、オンラインで授業を受けるためのヘッドセットを購入した。</p>	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input checked="" type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	16～20名
学習時間/日	3～4時間

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

<p>授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)</p>
<p>午前 8:30 から午前 11:30 にかけて授業を受けた。授業内容はカナダの文化や教育、自然についてなどさまざまなトピックを扱い、日本とカナダを比較し、クラスメイトとディスカッションを行う機会が多かった。文法や読解ではなく聞くこと、話すことが重視されており、英語によるコミュニケーションについて多くの経験を積むことができた。課題は 2 分間のスピーチを録音して提出するものや、リスニングテストなどがあり、さらに授業最後のプレゼンテーションに向けて準備を行った。発音や表現についてフィードバックを受ける機会が豊富だった。現地学生との交流では観光地のバーチャルツアーをしてもらったり、一緒にゲームをして楽しんだ。</p>
<p>授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)</p>
<p>初めての留学経験ということもあり、緊張していたが講師や現地学生はとてもやさしく、終始楽しく授業やアクティビティを受けることができた。日本の文化に興味を持って質問をしてくれるので会話がしやすく、カナダの文化についてよく知ることができる機会となった。英語の学習という点においては文法や読解が中心となる日本での授業とは異なり、英会話が占める割合が非常に大きく、意見を英語で述べる経験を積むことができた。また、授業内で動画やインターネットゲームを用いて楽しくコミュニケーションができるような工夫がなされていた。</p>
<p>参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)</p>
<p>トラブルなどにはメールを通じてすぐに対応してくれた。また、現地学生も私たちの学習のために様々なゲームやツアーの準備をしてくれていた。</p>

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	4.まあまあ効果を感じられる
<p>プログラムで得られた成果 ※300 字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)</p>	
<p>私が本プログラムを通じて得ることができた成果は大きく 2 つある。1 つは英語でコミュニケーションをとることがより身近なものに感じられるようになったことだ。海外に渡航した経験がない私にとって、英語でのコミュニケーションは非常にハードルの高いものだった。文法的な間違いや発音の不正確さによって意図が伝わらないものだと思いつけ、英語で話すことにためらいを持っていた。しかしながら、この 3 週間のプログラムを通じて英語で自分の意見を述べ、相手の話を聞く経験を積む中で、次第に英会話が楽しく</p>	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

なった。言語を学ぶ最大の目的は相手とコミュニケーションを取ることであって、完璧な文章を作ることではないという現地の学生の話聞き、硬直がほぐれ心を開いて相手と向き合うことができるようになったと思う。2 つ目は海外の文化について学びたいという強い動機ができたことだ。授業を通じてカナダの文化に触れる中で、日本にとどまらない世界的な視野を持ちたいと考えるようになった。今後の研究や社会人としての生活において今回の経験を活かしていきたい。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

新型コロナウイルスによる影響が今後の留学の選択肢にどのような影響を及ぼすかはわかりませんが、オンライン留学は私にとって、とても有意義なものでした。学業や時間的な都合などで現地に留学することが難しいという方にもお勧めできるプログラムです。

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	農学研究科
課程・学年	修士課程・2年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	8月9日（月）～8月27日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	4.有意義だった
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
<ul style="list-style-type: none"> ・もともと、大学で留学してみたいとは思っていた（目的：今後の英語学習の糧となる経験を積むこと、異文化理解） ・オンラインで補助金も出て、参加しやすい価格だった ・英語の成績証明が不要だったため気軽に申し込めた ・プレースメントテストがあった 	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
<ul style="list-style-type: none"> ・費用や開校時期、カリキュラム内容などの情報収集 ・プレースメントテストの準備 ・オンライン英会話 	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input checked="" type="checkbox"/> その他 (virtual tour)
----------	---

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

クラス参加人数	16~20名
学習時間/日	5時間以上
授業・アクティビティの概要 ※200字以上 (1日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	<p>・通常授業 3時間×4日/週、発音 2時間/週、conversation partner とのアクティビティ 3時間/週、バーチャルツアー 2時間/週、最終日にお別れ会 1時間（8:30~11:30 or 20:00~22:00）</p> <p>授業：カナダや英語でのディスカッションについて学ぶ、日本人同士や先生と英語でディスカッション、最終週に7分程度のプレゼン</p> <p>アクティビティ：英語を使ったゲームやベールづくり</p> <p>・次の日の予習や課題 1~4時間/日</p> <p>予習：テキストを読んでおく</p> <p>課題：スピーキング全6回、リスニング全3回+a、プレゼン準備</p>
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	<p>講師と conversation partner（現地学生）では話すスピードや聞き取りやすさに差があり、どちらも経験出来てよかった。全員優しく、なかなか話せなくても根気強く聞き取ろうとしてくれたり、理解できるまで説明してくれたりした。また、授業時間などかなり時間に忠実だったことに驚いた。</p> <p>参加学生は全員日本人で、レベルが揃っていたので臆せず話しやすかった。</p> <p>Zoomでの字幕機能があり、聞き取れない時はそれを補助的に用いることができた。</p> <p>また、授業はレコーディングされており、あとからスクリプトとともに見返すことができるので便利だった。</p>
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	<p>何かあればメール授業で聞ける。参加学生同士は自分たちでLINEグループをつかった。</p>

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	4.まあまあ効果を感じられる
プログラムで得られた成果 ※300字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	
① 英語でどうにか頑張って説明しようとする機会	

2021 短期オンライン留学プログラム（英語研修）_共通

それをきっかけに、何が話せないか、どういばいいかを考えることができた。話すことで少しずつ慣れた。

② 異文化理解

カナダの言語や歴史、社会、自然、食、教育などを学ぶことができ、自国について理解を深めたり考えたりする機会にもなった。また、バーチャルツアーで街の様子やモントリオールの名所を見ることができた。

③ リスニング力

普段現地の人が使っている自然な表現を学び、実際はどう聞こえるのかを経験できた。

④ 発音

母音や子音、アクセントや音節、繋がる音・消える音のルールなどを学んだ。

⑤ 現地の学生との交流

学生が映し出す現地の文化を感じ取ることができた。また、SNSでの繋がりを持つこともできた。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

英語力に自信がなくても参加してみるといいと思います！